

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | エミフル | | 公表日 2025年5月30日 | | |
|---------|--------|---|-----|----------------|---|---|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 7 | 2 | ・狭いスペースで出来る事を考えて、静と動の活動ができる様に工夫している ・整理整頓でスペースを確保、テーブルを移動して工夫している | 個別対応できる部屋が必要 走り回するには十分なスペースではない |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。 | 9 | 0 | ・こどもの状況に応じてマンツーマンで対応、声掛けなどの連携を行っている。 ・利用者2～3名に対して職員1名を配置 ・社員の指示やスタッフ間での声掛けによって保っている。 | ・こどもの状況によって足りないと感じる事もある ・一時的に手薄な時間（送迎時やトイレ対応）はあるが、声掛けあり協力しあっている。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 9 | 0 | ・物を置く場所をわかりやすくしている。ホワイトボードにて視覚カード、スケジュールなど情報を伝えている。 ・駐車場からエミフルまでバリアフリーになっている。 ・室内には段差がない、また死角がない様になっている | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 7 | 2 | ・畳、机での制作活動。体を動かすのはマットの方で活動 ・毎日室内の掃除、消毒、換気、などしっかりしている。また、感染症予防の為、空気清浄機、加湿器やジアイーノを使用している。 | ・空気の入れ替えが不十分。窓を常に開けて置けない |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 8 | 1 | ・個別の部屋はないが、更衣室又は事務所に職員と落ち着かせるようにできる。 ・個室で着替えが出来たり、休ませられるところがある | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 9 | 0 | ・朝礼、朝礼ノート、会議にて全職員参加し、共有している。 ・支援計画や振り返りをしている ・スタッフ会議に参画している ・スタッフ会議や朝礼、ヒヤリハットの活用での振り返りや話し合い | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 9 | 0 | ・一年に一回保護者へのアンケート実施し、貴重な意見を確認し、改善につなげている。 ・改善に向け共有されている | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 9 | 0 | ・常に職員の意見から業務改善できるものは行っている | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 0 | 9 | | ・現状、外部評価は行っていない |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 9 | 0 | ・会議の中で短時間でも研修を行っている。 外部研修もzoomなどで参加 ・研修費用は会社負担で受ける事ができる | |
| | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 9 | 0 | ・保護者に支援プログラムを配布。今後ホームページにも載せる予定。 ・今年度より義務化になり公表している | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 9 | 0 | ・スタッフ会議での支援者会議で意見交換をしている ・保護者、支援者の意見を聞いている ・年2回保護者との面談より、児発管が作成 | |

| | | | | | | |
|----------|---|--|---|--|--|--|
| 適切な支援の提供 | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 9 | 0 | ・個別支援計画書作成のため、支援者会議又、原案を作成後に会議にて賛同を得ている。 ・一人一人スタッフが、子どもの伸ばしていきたいところ、気になるところ等を書き出し会議にて話し合いがある | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 9 | 0 | ・個別支援計画書作成を個別日誌に張り付け、いつでも確認しながら支援している | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 2 | 7 | ・アセスメントは保護者の方に書いてもらっている | ・アセスメントツールを使用していない ・今後子ども家庭庁の障害児調査項目のアセスメントを使用し、行動観察を行う |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 9 | 0 | ・放課後等デイサービス計画書や日々の朝礼 | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 9 | 0 | ・社員がアイデアを出している ・会議で考えたり、皆でアイデアを出し合ったり出来ている | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 9 | 0 | ・季節に合わせて工夫している | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 9 | 0 | ・集団活動が難しいが少しでも参加できるように声掛けなどをする ・個別の活動と体操、歌など集団での活動が出来ている ・お出かけやゲーム等の集団活動や塗り絵や本、カード遊び等個人での活動が出来ている | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 9 | 0 | ・朝礼、朝礼ノートの活用 ・不参加のスタッフも共有できるようにしている | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 6 | 3 | ・終了後に打ち合わせを行っていないが、その日の気になる事は連絡、伝達できるように対応している。 ・気づいたことはメモに残す。 ・スタッフ同士で話し振り返り思い出した気づく事も多い⇒社員に伝える様にしている | ・少しの時間でも情報共有するようにしているが難しい |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 9 | 0 | ・個別日誌記入の仕方の研修を行い、客観的に見た様子を記入 ・毎日個別日誌に記載 ・必ず記載して、その内容を通して支援につなげている | |
| 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 9 | 0 | ・個別支援計画書を作成している ・スタッフ全員で子供たちの様子や状況を会議等で話し合う | | |
| 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | 9 | 0 | ・バランスよく支援できている | 地域交流の活動「けやき体育館」が主催しているものに参加している。 春休みの入る前に、けやき体育館主催で一般の子ども達も参加できる「ポッチャ」に行く予定 | |
| 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。 | 9 | 0 | ・小さな事でも良いので、選択できる場面を作るようにしている ・工作の材料を選ぶこと、見本通りでなくても個々の工夫が取り入れられるように考えている ・本人の意向を大事にしている。声掛けや視覚からわかりやすく ・何がやりたいのか選べるような働きかけ、声掛けをしている | | |

| | | | | | | |
|--------------|--|--|---|--|--|-----------------------------|
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 9 | 0 | ・児童発達支援管理責任者が参画している | 管理者・児童発達支援管理責任者が参画している。 |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 9 | 0 | | 体制を整えています。学校や障害福祉機関と連携している。 |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 9 | 0 | ・予定表で確認 ・受渡時に必ず話を聞き、メモを取り皆で共有している ・保護者の方や、学校側からの連絡 ・学校と情報共有また、送迎時の対応など連絡調整をして対応してもらっていることもある ・保護者からの情報 | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 6 | 3 | | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 6 | 3 | ・こちらから情報を提供することはないが、移行先から情報の提供についてお願いがあれば、保護者に確認して提供している。 | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 3 | 6 | ・児童発達支援センターに相談したことはある | 今後、助言や研修など受けられるようにしていきたい。 |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 0 | 9 | ・地域の公園に時間がある時には遊びに行くようにしている | |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 0 | 9 | ・自立支援協議会への参加はしていないが、放課後等デイサービスなどの他事業所と連携を取る為、こども福祉協議会へ参加をしている | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 9 | 0 | ・連絡ノートで共有していきたい ・連絡帳の活用 ・面談や送迎時、電話にて | |
| 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 3 | 6 | ・ペアレントトレーニングや研修は行っていないが、エミフルでの対応の仕方や伝え方など情報の提供を行っている | | |
| 保護者への説明等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 9 | 0 | ・契約時に伝えている ・契約時に丁寧に伝えている（約2時間） | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 9 | 0 | ・保護者の意見や意向等、面談等で聞き取りし、反映されている | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 9 | 0 | ・確認してもらい、判を押してもらう | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 9 | 0 | ・送迎時や電話で対応し助言やどうしたらよいか一緒に考える ・面談や電話、送迎等で保護者からの話はスタッフ同士で連携し社員へ報告 | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 6 | 3 | ・コロナ後、今年度末に保護者会を開催する ・コロナ禍から開催していなかったがそれまではありました。 | |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 9 | 0 | ・すぐに社員に報告 ・何かあったら社員が迅速に対応している ・苦情対応について契約時に話をしている | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 9 | 0 | ・月に一回お便りを発行。ホームページのブログにて活動の様子を伝えている | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 9 | 0 | ・徹底している ・研修等をうけたり、留意している | |
| 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 9 | 0 | ・連絡ノートで共有している ・子供により適切に対応している（視覚カードの活用） | | |

| | | | | | | |
|---------|----|--|---|---|--|--|
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 2 | 7 | ・散歩や外出時時に地域の方に挨拶をしている ・コロナ禍の影響で難しい状況が続いている | |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 9 | 0 | ・エミフルにファイリングしていつでも見られるようにしている。また、壁に貼り付けているものもある。 ・訓練や研修でしっかりできている ・マニュアルを策定し、講習も受けている ・嘔吐物に対する、感染症対策の訓練を行った ・会議や資料等で確認 | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 9 | 0 | ・年に2回、長期休みも行っている ・年2回訓練の実施 ・火事や地震対応の避難訓練を行っている | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 9 | 0 | ・アセスメントや朝礼、会議 | |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 2 | 7 | ・現在食物アレルギーのある子供がいないが、保護者へ確認している。 ・アセスメントに記載されている | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 9 | 0 | ・虐待防止や身体拘束等適正化、感染症、消防訓練等研修を受けている 長期休みなどは安全計画を作成している。 | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 9 | 0 | | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 9 | 0 | ・みんなで共有している ・決まったところにあり、皆で共有できている | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 9 | 0 | ・職員全員研修に参加 ・研修が義務づけされた | |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 9 | 0 | ・事前に了解されてから行う。やむを得ずの時は1人ではやらない（2人以上で対応） ・必ず会議でスタッフ向け説明があり計画書に記載されている | |